



## 地域探究学習の推進のために

4/22 危機管理センター

市と慶應義塾大学鈴木寛研究会は、教育振興を目的とした協定を締結しました。ゼミ生によるプロジェクト型学習を実践する鈴木寛研究会の協力を受け、市が取り組む地域探究学習をより推進していくことで、三豊の未来の創り手となる子どもたちを育成していきます。

## 新茶の摘み取りがはじまりました！

4/21 高瀬町茶畑

3年ぶりの新茶撮影会が、高瀬町にある宮崎勉さんの茶畑で行われました。伝統的ななすりの着物に身を包んだ茶娘たちが、一つひとつ丁寧に新茶の葉を摘み取りました。今年は適度な雨量で、香り高いコクのあるお茶ができました。



## 健康増進、高齢者支援、スポーツ振興に関する協定を締結

4/25 危機管理センター

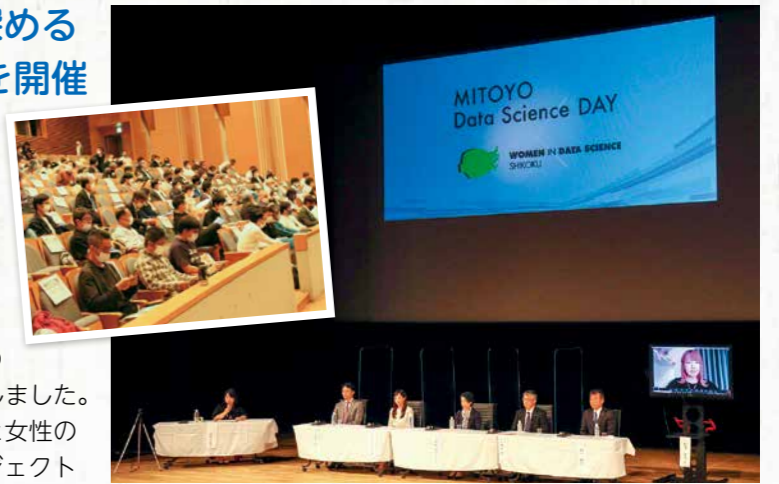
市と第一生命保険株式会社は、市民の健康増進、高齢者支援、スポーツ振興を目的とした協定を締結しました。今後、第一生命保険株式会社は、特定健康診査やがん検診などの啓発 PR、高齢者の見守りや認知症事業への協力、スポーツ大会などの人的協力を予定しています。



## データサイエンスについて知識を深める「MITOYO Data Science DAY」を開催

5/14 マリンウェーブ

近年注目されているデータサイエンスについて、身近に感じてもらうことを目的としたイベント「MITOYO Data Science DAY」が開催されました。第1部では、AIの第一人者である東京大学大学院松尾豊教授が登壇し、企業との共同プロジェクトの実例を交えながら、「これからはデータサイエンスのスキルが全ての企業や組織に必要」とその重要性を話しました。第2部では、データサイエンス分野の認知度向上と女性のデータサイエンティスト輩出をめざす世界的なプロジェクト Women in Data Science (通称 WiDS) SHIKOKUの四国初となるシンポジウムが開かれ、女優のいとうまい子さんと株式会社エムスクエア・ラボ代表取締役社長の加藤百合子さんが、データサイエンスを取り入れたそれぞれの取り組みを紹介しました。いとうさんは、自身の経験を振り返り、「楽しいと感じることにぜひチャレンジしてほしい」と会場を訪れた人に呼びかけました。



▲第3部パネルディスカッション  
▲(左から)松尾豊教授、いとうまい子さん、加藤百合子さん



## 高瀬中学校夜間学級の開設式・入学式

4/14 高瀬中学校

高瀬中学校夜間学級の開設式ならびに入学式を挙行了しました。公立の夜間中学校設置は県内初。また文部科学省から公立夜間中学校では全国初となる「不登校特例校」の指定を受け、今後、不登校の中学生も受け入れていきます。

おめでとうございます

ベンチプレス全国大会で日本一

4/14 三豊市役所

白川猛士さんが、1月に福岡県中間市で開催された第23回ジャパンクラシックベンチプレス選手権大会に出場し、男子マスターズ4(70~79歳)59kg級で優勝しました。今回の大会では、110kgを記録。白川さんは「今の自分にとっては、新記録よりもできるだけ続けていくことが何よりの挑戦です」と次への意気込みを話してくれました。



## 東洋炭素株式会社からの寄付

5/10 三豊市役所

東洋炭素株式会社から、企業版ふるさと納税として「宝山湖ボールパーク夢いっぱいプロジェクト」に活用してほしいと、1,000万円の寄付をいただきました。近藤尚孝代表取締役会長兼社長兼CEOは「スポーツを通じて、子どもたちの教育や成長を応援するための設備を作ろうとする素晴らしい構想」と寄付に込めた思いを話されていました。

## フラワーパーク浦島で花摘み

4/21・22 フラワーパーク浦島

詫間町内の保育所・幼稚園の子どもたちが花摘み体験をしました。フラワーパーク浦島には今年もマーガレットやキンセンカなどが咲きほこり、子どもたちは家族の人や友達と、思い思いに好きな花を摘んでいました。今年の花の見ごろは4月末~5月中旬で、休日にはオンラインで予約した多くの一般の人も入園していました。



みとよHOT NEWS

ほっとニュースは市ホームページでも

三豊市